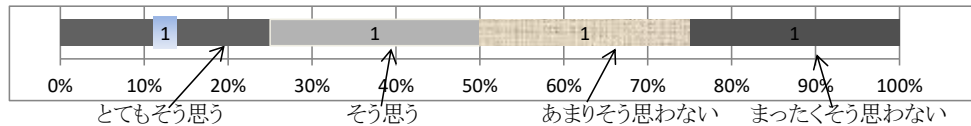


児童アンケート集計結果

令和6年12月実施

凡例

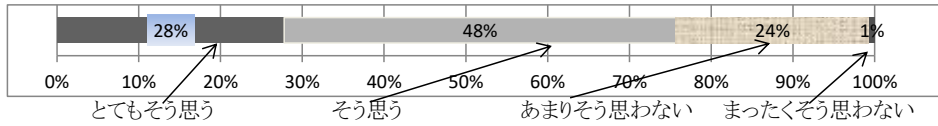


評価項目	回答別割合 (%)	平均 4段	分析
1 学校や学級は楽しいですか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.5	92%の児童が「学校や学級が楽しい」と答えています。次年度も、特別活動や学校行事を充実させて、楽しい学級づくりの構築を目指していきます。
2 自分からすすんで、明るいあいさつができていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.0	1回目と比べるとあいさつの習慣は身に付いている児童は2%減少しました。引き続き「自ら進んで」しっかりとあいさつの出来る児童の指導を行ってまいります。
3 授業は、わかりやすく楽しいですか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	「学びのたしかめ」「全国学力学習状況調査」などの結果は徐々に向上しています。今後は、学力向上推進の取組を強化し、2月の「到達度調査」に向けて全校体制で学力課題への対応をして参ります。
4 生き物のいのちを大切にしたり、思いやりをもって友達を大事にしていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.6	96%の児童が「いのちは大切だ」と思っています。学校の教育目標に命の大切さを中心に取り組んでいます。今後とも、各学級においても実態に応じて協力、思いやり、等の授業を実践し、児童の心の教育を行います。
5 身の回りの整理整頓や学校・授業のきまり[学習の約束]はきちんと守っていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.1	「古蔵っ子の1日」を基に、学力向上の土台である身構え・物構え・気構えを中心に、学校全体で身の回り整理整頓や学校生活・授業のきまりについて引き続き取り組んでいます。
6 ふわふわことば[ありがとう・ごめんね・すごいね]をたくさん使っていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	いじめの未然防止、のぞましい人間関係の構築のためにも、他人の心に気遣った言葉の使い方は大事です。ふわふわ言葉の使用を継続し、今後は更に伝え方等も工夫できるように推進して参りたいと思います。
7 家庭学習を毎日していますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.3	83%の児童が取り組んでいます。「やらされるのではなく、自ら進んで行う」家庭学習を目指し取り組んでいます。
8 早寝・早起き・朝御飯をしっかり続けていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.2	家庭において生活の基盤をしっかりと整えることは大切なことです。今後ご家庭と連携した取組を充実させていきます。
9 友達や先生の話最後まで、しっかりきくことができますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.4	9割の児童が達成しています。人の話をしっかり聞ける子は、しっかりと話すこともできるようになります。コミュニケーションの基本となる「聞く力」を授業をはじめとした日々の教育活動の中で身に付けさせていきます。今後とも家庭での声かけ、励まし等も宜しくお願いします。
10 給食はすききらいせず、楽しく食べていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.4	とても良い状況です。生きていく上で最も大切である食の大切さを食育を通して育成します。また、アレルギー等、個々の児童の特性に注意を払っていきます。
11 「いかのおすし」を守っていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.7	95%の児童が達成しています。教職員の危機管理能力を高めるとともに、学校において定期的な避難訓練を通して、児童の危機回避能力を高めていきます。また、「スクリーン」等の学校メールを活用し、不審者情報を発信し、家庭と連携して緊急時の対応を行っていきます。
12 自分のことが好きですか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.0	自分の良さに気づいたり、それを伸ばしていこうという心を育てます。今後とも、校内研修などを通して自己肯定感が高められるように取り組んで参ります。そして、何事にも自信を持って取り組める児童の育成をめざします。
13 前の日で時間割を調べ、自分で忘れ物がないよう準備できていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.2	落ち着いた学習し、しっかりと授業に取り組むためには、学習の準備は大切です。今後とも家庭との連携を密にし、協力して粘り強く、子どもたちの凡事徹底を推進し、更に良い結果となるようにご家庭との連携を密にして取り組んで参りましょう。
14 将来、どんな仕事をしたいか、夢がありますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.5	最近、お昼の校内放送を通して、自分の夢を語る児童が増えてきました。学校では「夢紹介」という取組を通して児童の夢を育むキャリア教育や特別活動、総合的な学習の時間に取り組んでいます。今後取組を継続し、意欲を高めていきます。
15 古蔵小学校は、あなたが通いたい学校になっていますか	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	3.5	「学校や学級は楽しい」と答えた児童は95%となっています。今後は更に、「学ぶことが楽しい」と思える授業づくりに取り組み自己肯定感を高める指導に取り組んで行きます。

保護者アンケート集計結果

令和6年 12月実施

凡例



評価項目	回答別割合 (%)	平均4段	分析
1 学校は児童がよく学び、仲良く助け合う学校をつくっている。		3.1	9割の保護者が学校における児童同士の関係を良好と捉えています。今後とも、児童がともに関わりを持ち、楽しいと思える学校づくりをしていきます。
2 学校は保護者・地域と連携し開かれた学校をつくっている。		2.8	今後とも、「ホームページ」や「スクリレ」「文書」等を活用し、学校の様子や重要なお知らせを随時発信していきます。また、学年・学級の情報発信も促していきます。これからも、学校との連携・協力を宜しくお願いします。
3 学校は児童理解に努め、思いやりと温かさのある指導を行っている。		3.0	今後とも子どもたちの心に寄り添い思いやりと温かさのある指導を継続していきます。
4 お子さんは当該学年の学習内容が定着している。(確かな学力の向上)		3.1	学力向上推進の取組を共通理解・共通実践のもと、全教職員体制で取り組んでいます。基礎的・基本的な学習内容を重視し、学力調査対策も実施していきます。
5 お子さんは家庭学習が習慣化している。(確かな学力の向上)		3.2	家庭学習が根付いてきました。自学ノートや授業と連動した宿題の取り組みを継続し、学校と家庭が連携することで、お子様の家庭学習の定着をめざしていきます。引き続き宜しくお願いします。
6 お子さんは望ましい生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)が定着している。		2.8	望ましい生活リズムが向上してきていることが分かります。のぞましい生活習慣の確立は、家庭においてお子様との共通理解が大切です。学校とも連携し、定着をめざして行きましょう。
7 お子さんは家でも読書をしている。		3.0	児童の読書意欲も高まってきました。毎月第3日曜日の「家庭の日・ファミリー読書」を活用し、ご家庭でお子さんと一緒に読書を行う時間を確保して頂きたいと思えます。学校では、図書館の活用も引き続き推進していきます。
8 お子さんは家や地域であいさつをしている。		3.1	前回と同じ結果になりました。これからも児童会や生活委員会を中心に、定期的なあいさつ運動に取り組んでいます。自ら進んであいさつができる児童が増えてきています。今後とも家庭での声かけもお願いします。
9 お子さんは身の回りの整理整頓ができています。		2.9	前回と結果は同じです。身の回りの整理整頓をしっかり行うことで、学習に集中する力や気持ちの良い生活を送ることができます。日々の生活習慣が基本となりますので、これからも継続してお声かけをお願いします。
10 お子さんは好き嫌いせず食べる習慣ができています。		2.9	前回と結果は同じです。食べることは生きる上で最も大切な営みとなります。正しい食習慣の形成、食の楽しさなど、栄養教諭や担任と連携し食に関する授業を行っています。今後とも健全な食生活が実践できるよう子の育成を図ります。
11 お子さんは安全な行動が身についている。(日常の行動・交通安全・不審者対応・避難訓練等を通して)		3.2	前回と同じ高い水準です。不審者訓練や避難訓練等を通して緊急時の対応の仕方についても学んでいます。今後も、家庭に対しては、「お手紙」「スクリレ」等を通じて情報発信をし連携していきます。
12 お子さんの前日の学習準備が習慣化し、忘れ物をほとんどしない。		3.1	前回と同じ結果です。今後とも、学習用具を大切にし、見通しを持って物事の準備をすることが学力向上をはじめ、リズムのある生活習慣の形成に大変重要です。保護者と学校が連携し、生活の基盤を強化していきましょう。
13 お子さんは将来の夢・希望を持っている。		2.8	前回と比べ0.1ポイント低下しました。これからも継続して児童が将来への興味・関心を高め、児童のキャリア発達を促す取組を行っています。学校と保護者がお互いにお子様への夢の実現に向けてサポートしていきましょう。
14 目指す家庭像を実現できるようつとめている。□		3.0	良い結果だと思います。あいさつをする、時間を守る、身の回りのお片付けをする等、基本的な生活習慣の確立は、人間性を育む上で大切です。お子様の成長のために、今後とも、ご家庭での取組もご協力をお願いします。
15 古蔵小は、お子さんを通わせたい学校になっている。		3.1	生命を大切にし、安心安全で過ごせる学校、一人一人の個性を大切にし、学ぶ楽しさや自己肯定感の向上のために、これからも継続して学校・家庭地域が連携した取組をしていきます。

令和6年度 学校評価(自己評価)※職員により評価可能な項目を評価(集計)

評定・・・4(十分達成された), 3(達成された), 2(改善が必要), 1(かなり改善が必要) 何れかに○を記入

	評価の視点 教員:自己評価及び担当している児童の変容を評価する。 教員以外:評価可能な項目を自己評価または学校の全体的な変容・様子を評価する。	評定(%)				成果、課題、反省点、改善策等を記入
		4	3	2	1	
① 教育課程	1.教育目標を理解し、その具現化に努めた。	14.3	85.7	0.0	0.0	○教育計画を見ながら、実施することが出来たと思います ○毎回のお話朝会で繰り返し確認することで、意識づけられたように思います。
	2.「計画・実行・評価」を行い教育計画の改善を図った。	19.0	81.0	0.0	0.0	○今年度、教育計画については見直しが多かったが、実際に改善が図られるのかこれから注視していきたい。 ○毎時間の教材研究・計画、授業後のふり返り・評価を確実に行った。
	3.各教科・領域で示された標準授業時数を十分確保した。	47.6	52.4	0.0	0.0	
② 組織・校務	4.組織運営、各関係の連絡調整がうまく図られている。	19.0	71.4	9.5	0.0	○困った時に相談をのってくれることが沢山ありました ○体育フェスティバル等で役割分担について担当について納得できていない職員がいたため、連絡調整ができていなかったと捉えている。 ○達成されたと思うが、全部の校務分掌で改善が図られたとは言いがたい。
	5.各種運営委員会や部会等が適正に行われ、計画や取り組み実践等の共通理解がなされている。	9.5	71.4	19.0	0.0	○各部会の見直しが必要だと思う。 ○大きな行事(体育フェスティバル)に関して、当日までなかなか職員全体に情報が回って来ず混乱していた状況があった。また、放送を行う児童の委員会において、新しい取り組みが職員全体にきちんと誇られているか疑問に感じた。(いつの間にか昼休みにも音楽が流れている?)
	6.「チーム古蔵」としての同僚性が生まれ、同じ目標を目指した教育活動が図られている。	23.8	66.7	9.5	0.0	○一部で盛り上がっている感がある。同じ理解で進んでいるとは思えないところがある。 ○校長先生をはじめ、同じ目標を目指すことが出来ていると思います。 ○子どもたちの対応や保護者対応などいろいろな問題?なやみ?に気軽に話ができる仲間がいることはとても心強いです。
③ 学年・学級	7.学年での共通実践やきまり等の共通理解を図り、効果的な指導を行った。	38.1	61.9	0.0	0.0	
	8.支持的風土のある楽しい学級づくりに努めた。	9.5	90.5	0.0	0.0	○感情の起伏の大きい子が多いが、それぞれがクールダウンする方法を見つけてつあります。 ○悩みながら、学級づくりに努めています
④ 学習指導	9.児童一人一人の基礎学力の定着を目指した学習指導(学習意欲を高める、わかる授業)の工夫改善に努めた	19.0	76.2	4.8	0.0	○個別支援を行なっています
	10.スタンダードを心がけ、ふりかえりの充実、楽しい授業づくりができた。	4.8	90.5	4.8	0.0	○ふりかえりの視点を入れながら取り組んでいます ○振り返りの時間を確保できない時もあったので改善していきたいです。
	11.総合的な学習では、課題解決に必要な知識及び技能を身につけさせることができた。	9.5	76.2	14.3	0.0	○前年度の経験者に習いたい時間が少ない。主要教科に時間を割いてしまい、ついつい後回しになってしまう。
⑤ 道徳・特活	12.道徳学習に意欲的に取り組めるような授業づくりに努めた。	38.1	57.1	4.8	0.0	○ローテーションを取り入れることで、授業を振りかえり、何度も実践できてより深めることができた。 ○教材研究に力を入れています ○特別支援学級での道徳の授業の工夫が必要
	13.児童主体の話し合い活動の充実に努めた。	14.3	61.9	23.8	0.0	○自立活動を通して計画的に進めたい。 ○特別支援学級では、なかなか話し合い活動は持つことができなかった。
	14.学級での役割や取り組みに児童が主体的に参画し、協力し合えるように取り組んでいる。	9.5	85.7	4.8	0.0	
⑥ キャリア教育	15.学年の発達段階に応じて、計画的、系統的に全教育活動を通してキャリア教育を指導している。	14.3	81.0	4.8	0.0	
	16.キャリア教育を基盤に、日々の授業実践や学期のふりかえり等をおこない、児童のキャリア発達を促すことができた。	9.5	85.7	4.8	0.0	
⑦ 生活指導	17.気になる児童には、積極的に声かけや教育相談をしている。	38.1	61.9	0.0	0.0	
	18.不登校やいじめに対し学年や管理職と相談しながら組織として対応している。	52.4	47.6	0.0	0.0	○教育相談支援員やSC、SSW等外部機関との連携も出来てきている。
	19.問題行動に関する情報は全職員で共通理解を図っている。	33.3	61.9	4.8	0.0	○主任、学年に相談している○専科は把握していないこともあります
⑧ 特別支援教育	20.特別支援教育は全職員が共通理解をし、連携・協力して児童の指導や対応にあたっている。	23.8	66.7	9.5	0.0	○特別支援についての児童への授業、職員への研修をおこなうことができた。 ○特別支援の担任が1度も授業に入ってきたことがない。授業の様子を尋ねられることもほぼない。全体を指導しながら、特支の児童に個別に指導ができないことが多いため、たまには授業に入ってきてその児童のヘルプをしてもらえたらと思う。また、また給食指導の際は、特支の児童を見つてももう少し交流学級の児童全体も指導してほしい。 ○年度始め、特別支援学級児童が協力学級で全日過ごす期間が長いと感じる。学級担任は児童把握を丁寧に行いたい、落ち着かない特別支援児童の対応に追われ、丁寧に見てあげるべき児童の対応が遅れてしまう。
	21.特別な支援を要する児童への共通理解が図られ、個別の支援計画を作成し、適切・計画的に支援を行っている。	19.0	71.4	4.8	4.8	○特別支援学級在籍児童、補助員対象児童についての「個別の支援計画・指導計画」は全員作成済みです。 ○配慮が必要な児童に関して、交流学級担任や専科に積極的に情報を流してほしい。(こういう活動では、このようにしてほしい。こういう活動の際には、こういう行動が見られることが多いので、こういう配慮が必要など。)
	22.学校は、特別支援教育の充実に目指し、関係機関と情報交換や連携を図っている。	28.6	66.7	4.8	0.0	

令和6年度 学校評価(自己評価)※職員により評価可能な項目を評価(集計)

評定・・・4(十分達成された), 3(達成された), 2(改善が必要), 1(かなり改善が必要) 何れかに○を記入

	評価の視点 教員:自己評価及び担当している児童の変容を評価する。 教員以外:評価可能な項目を自己評価または学校の全体的な変容・様子を評価する。	評定(%)				成果、課題、反省点、改善策等を記入
		4	3	2	1	
⑨ 保健・安全	23.学校保健計画に基づき、保健指導、健康教育に取り組んでいる。	23.8	71.4	4.8	0.0	○取り組みが見えないところがある。
	24.学校安全計画に基づき、安全教育を確実に実施している。	28.6	66.7	4.8	0.0	○ワークスペースを走る児童がいるので、全職員で「巻き戻し作戦」等で指導を徹底した方が良い。○廊下を走る子ども達が多すぎる。先生もけがをして入院している。
	25.危機管理マニュアル(教育計画)に基づいた、緊急事態への対応について理解している。	19.0	81.0	0.0	0.0	
⑩ 校内研・学推	26.主体的・対話的で深い学びに即した授業改善に取り組み、児童の思考力・判断力・表現力を伸ばすことができた。	4.8	85.7	9.5	0.0	○個人的な改善が必要なのでこの回答です
	27.学力向上推進計画を基に、全職員が学力向上を図る取り組みを推進している。	14.3	81.0	4.8	0.0	○かけ算九九テストを計画的に進めている。 ○リレーノートの取り組みに学級差が出てきているので、昨年のように期間を決めてやった方がいいのではないかと思う。 ○家庭学習の「リレーノート」の実施は、児童一人一人により刺激を与えていると思いますが、毎週の掲示に関しては疑問に思うことがある。家庭学習強化月間の期間で行うとよいのではないか。
⑪ 中一貫	28.合同研修会を通して、教師間の相互理解や連携を深め、有意義な取り組みができるようになったか。	28.6	61.9	9.5	0.0	○連携を深めるまでの時間は取れていないし、形だけの研修になっているような気がします。 ○相互理解や連携を深めるところまでは達していないと感じる。本当に合同研修会が必要なのだろうか。
	29.合同研修会では、共通実践事項の確認や参考になる指導方法を見いだすことができたか。	23.8	71.4	4.8	0.0	○小学校は低中高と幅広いので、もう少し工夫できないか。低学年は中学校の授業実践から得るものは少ない気がする。
⑫ 施設・設備	30.教育活動が十分できるよう施設・設備が整っている。	19.0	52.4	28.6	0.0	○体育館の完成を楽しみにしています。 ○体育館ができないことにはなんとも言えない。○一日も早く体育館が活用できるようにしてほしい。
	31.校舎内外の施設・設備の点検を定期的に行い、適切な安全管理をしている。	33.3	66.7	0.0	0.0	○体育館、プールの工事、学校周辺の環境を配慮しつつ安全管理がなされている。 ○教頭先生がいつも対応してくださっています。
⑬ 家庭・地域	32.家庭や地域と連携・協力しながら、教育活動を進めている。	9.5	71.4	19.0	0.0	○保護者を支援する必要な家庭が多い。 ○学習に関する協力願いをスクリレや手紙等ですが、協力をえられない家庭がある。
	33.保護者、地域住民から寄せられた意見や要望に対して、学校の改善に取り組んでいる。	14.3	85.7	0.0	0.0	○アフターコロナ下であり、保護者、地域の協力はまだまだ必要である。
⑭ 情報	34.学校の教育活動やお知らせ等について公文やメール、HP等で速やかに伝達されている。	23.8	57.1	19.0	0.0	○安全面について、スクリレ等の活用が効果的になされている。
⑮ 一時徹底・共通実践事項	35.子どもたちの主体的なあいさつの徹底に努めた。	9.5	66.7	23.8	0.0	○しっかり声を出して挨拶する児童が増えたように思う。 ○挨拶は進んでやる児童が少ない。 ○自ら挨拶してくれる児童が増えたが、継続指導が必要。 ○主体的にはなかなかいいかない子どもが多い。 ○相手の目を見て、爽やかにあいさつをする児童が大変少ない。朝に関しては、家庭の生活リズムが大きく関係しているのではないか。
	36.子どもたちのふわふわことばの定着に努めた。	4.8	81.0	14.3	0.0	
	37.子どもたちの“聴く力”の育成に努めた。	9.5	76.2	14.3	0.0	○お昼の校内放送は、ほとんど聞いていないように思う。
	38.子どもたちの自己肯定感の向上に努めた。	9.5	71.4	19.0	0.0	○テスト等ちょっとでも難しいと思うとすぐにやる気をなくして「できない」とあきらめる傾向が見られる。 ○もっと自信を持って生きてほしい。 ○まだまだ継続が必要だと思います。 ○改善されてきていると思う。
	39.子どもたちへの“勇気づけとボイスシャワー”を行うことができた。	4.8	90.5	4.8	0.0	○意識してきましたが、まだまだ必要です○教師のやさしい言葉遣いはまだまだ必要だと感じる。
	40.チーム古蔵の一員として、楽しい学校づくりに参画することができた。	14.3	85.7	0.0	0.0	